

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 秋田県秋田市八橋大畑
2-3-1
名 称 株式会社 Local Power
代表者 代表取締役 寺田 耕也

株式会社 Local Power

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

地域に潜在する価値を活用し、地域だからこそできるビジネスがその地域で興りやすい環境や風土を創ることで、資源および人材の地産地消に取り組みます。それにより、資源やエネルギーの浪費を縮小し、活用しきれていないあるいは見出されていない価値を創出することで、持続可能かつより幸福な地域社会の実現を目指します。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 初回登録年月日：R3 年 11 月 19 日	関連する主な SDGs ゴール (最大 3 つ)
☑経済 ☑社会 ☑環境	地域の人的・物的資源を活用した研究開発により、公衆衛生や農業になど係る革新的な製品を生み出す。	公衆衛生関連製品の充実と新規開発および化粧品工場の立ち上げとラインナップ充実などを通じて、地域雇用の創出や未活用資源の活用を進める。 農業や食品分野への技術応用に関して、県の大学や研究機関との連携による成果を製品化する。	公衆衛生の改善を実現する製品開発として、 ① 化粧品カテゴリの洗口液開発が終盤に差し掛かっており、ユーザーヒアリングなどのマーケティングで実ニーズが確認できたことから年内の上市を予定している。 ② 大潟村が一大産地化することを目指すタマネギについて、次亜塩素酸（アイポッシュュ）による収穫後の病害防除効果の評価を継続して続けているほか、タマネギの	3 9 8

			育苗箱の除菌に効果が高いことが立証され、大潟村 JA や農業法人へ導入が決定し、タマネギ生産の歩留まり向上や廃棄率低減に対して貢献が期待される。 ③ 次亜塩素酸の公衆衛生環境改善への取り組みとして、畜産分野の臭気問題についても取り組みを行った。養豚農家や堆肥舎にて実地試験を行い、今まで解決できなかった臭気課題を低減する効果が確認された。来年度に向けて、実装のための課題に取り組んでいく。	
☑経済 ☑社会 ☑環境	地域の未利用および休眠資産の再活用によって、地域に新たなビジネスを創出する。	地域の未活用資産を使ったビジネス数を増加させていく （2021年：3案件→2030年20案件）。また、その事例によって、地域ならではのビジネスが創出されやすい風土をつくる。	① シェアレストランの運営。利用者の事業者より、施設の買い取りと独立の要望があり、一つのゴールで会ったビジネスの創出と成長へつながった。 ② 空き倉庫を改修・リノベにより設立したシェア体育館運用推進。近隣企業や外国人技能実習生などの参加によるフットサルイベントを常設。特に、外国人技能実習生の参加となった企業からは貴重な運動の機会と地域交流につながっていると毎月参加されている。	8 11 17

☐ 経済 ☒ 社会 ☒ 環境	社会貢献活動への積極的参画や社内へのSDG s 浸透と自発的な取り組みの推進	社内における参画人数と回数の増加 2030年に社内参画比率（人数）80%を目標とする。	昨年引き続き、SDG s の意義を業務内容に実装することを意識して取り組んだ。特に、継続開発している循環型農法について実証ビニールハウスを設置して食糧生産を開始したことから、情報発信や実作業、農福連携の実現など事業として取り組み、環境保全と地域活性化の効果を得られた。 上記などの新たな取り組みもあり、参画率は60%程度となった。	1 4 17
---	--	--	---	--------------

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさを守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	